

(試験研究課題年次別解説集様式3号：完了課題用)

# ヒラメ種苗生産における魚病被害の 防除に関する研究

(予算区分 県単 研究期間 平成14～16年度)  
栽培漁業センター

## 【研究の背景とねらい】

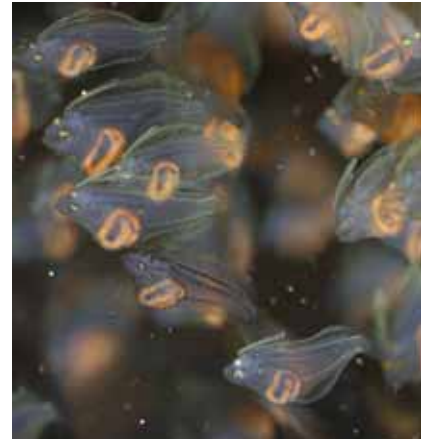
ヒラメ種苗生産過程ではスクーチカ症、ネオヘテロボツリウム症などの寄生虫症が問題となっているため、これらを防除するような飼育条件の検討を行い、安定した種苗生産工程を確立します。本年は中間育成時の換水率を上げることによりその効果を検討しました。

## 【研究成果】

- ・ 日齢26より中間育成を開始し、換水率を従来の5回転/日から8回転/日に上げました。
- ・ 試験区では注水量は一定にし、水深を浅くすることで実質的な換水率を上げました。
- ・ 換水率を上げることによりスクーチカ症の発生が見られなくなりました。また、飼料効率は2倍に、単位面積当たりの取り上げ重量も向上しました。



スクーチカ



ヒラメ稚魚(生後22日)



ヒラメ飼育水槽

(水の回転流を付け水槽中央より排水する)

表 飼育結果

	従来飼育	試験飼育
換水率(回/日)	5	8
水深(m)	1.0	0.6
取上重量(kg/m <sup>2</sup> )	10.73	12.00
飼料効率(%)	85	150
スクーチカ発生	あり	なし

## 【成果の普及方法】

平成17年度より種苗量産業務が委託化されるので、その生産システムに組み入れられるよう指導します。

(作成 平成17年3月)